

# IoT/AIを支えるソフトウェア特許

基本から明細書・クレームの作成法まで

日時

2018年 5月25日 (金)

10:30 ~ 16:30

税込受講料

1名 47,520円

2名以上1名 43,200円

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分  
 JR中央線(緩行線)  
 地下鉄東西線(A5出口)  
 地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)  
 都営地下鉄大江戸線(A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかでお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

講座の趣旨・POINT

IoT, AIを売りにするモノやサービスが目につくようになってきました。このようなモノやサービスに詰め込まれた技術的アイデアを、法的に保護するための手段がソフトウェア特許です。では、ソフトウェア特許はビジネスにどう役立つのでしょうか。どうすればソフトウェア特許を手に入れ、活用することができるのでしょうか。

本講座は、IoT, AI分野の動きを眺めつつ、ソフトウェア特許を活用して先行者利益を確保するための基礎知識と実務を1日でポイントをおさえることを目標とします。知財担当・研究者・エンジニアの方々にとって必要な知識を効率よくおさえるための講座です。

講師

相澤 聡氏 弁理士、いちご特許事務所 パートナー  
 元特許庁審査官 元ソフトウェアエンジニア

基礎編

いま注目されるIoT, AI

- (1) IoT, AIとは何か?
- (2) いまIoT, AIが注目される理由 - ネットワークと人工知能の歴史と現在
- (3) IoTとAIがもたらす産業上の可能性と問題点

特許は市場を制するためのツールである

- (1) 特許とは (2) 特許を武器として用いる方法
- (3) 特許のコストとベネフィットを分析する (4) 強い特許とは

ソフトウェア、IoT, AI産業における特許の特殊性

- (1) ソフトウェアと特許 - 守れるもの、守れないもの
- (2) IoT, AIと特許 - 守れるもの、守れないもの (3) IoT, AI特許の事例紹介

実践編

IoT, AI分野で特許を武器とするために

- (1) IoT, AI分野で特許を手に入れるための2つの視点
  - (a) 特許で守れる「発明」を切り出す (b) そこに「進歩性」があるか
- (2) 主要マーケットの制度比較
  - (a) 日本 (b) 米国 (c) 欧州
- 特許明細書とクレームの作成法 - IoT, AI技術を題材として
  - (1) 特許取得までのスケジュール
  - (2) 明細書とクレーム
    - (a) 明細書とクレームの役割と構成 (b) 明細書とクレームが満たすべき要件
  - (3) 何をどのように書くか
    - (a) 何を書くか (b) どのように書くか
- 事業を守れる特許を手に入れる
  - (1) 商流、競争環境、技術の進歩、事業の変化を想定する
  - (2) 国境なきネットワーク時代の特許権侵害を想定したクレームの作成方法

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ  
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675  
 E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 IoT/AIを支えるソフトウェア特許

セミナーコード

1101-180525

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2018/5/25 ISS

社名	所在地	〒	電話	( )
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	( )
				-
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト( ) その他				